

神経変性疾患領域における基盤的調査研究班 平成26年度 連絡会議・ワークショッププログラム

◆日程:平成26年7月25日(金) 10:00~16:00

◆会場:都市センターホテル 5F オリオン

10:00~10:10 開会挨拶 研究代表者 中島 健二 (敬称略)

ワークショップⅠ:運動ニューロン疾患 up date

座長:森田 光哉(自治医科大学神経内科)

10:10~10:40 ALSにおける認知機能障害の早期診断

演者:河村 満(昭和大学神経内科)

10:40~11:10 ALS-Dと非ALS-Dの長期経過例:JaCALSからみたALSと認知機能

演者:祖父江 元(名古屋大学神経内科)

11:10~11:40 ALSにおける認知症:神経病理学的立場から

演者:吉田 真理(愛知医大神経病理)

講演1:難病研究について

座長:中島 健二

11:40~12:10 難病研究の方向性

演者:武村 真治(国立保健医療科学院 研究事業推進官)

12:10~13:00 (昼食時間を利用して) 事務局より連絡

JaCALSに関する連絡 演者:祖父江 元(名古屋大学神経内科)

JALPACに関する連絡

昼食

進捗状況 演者:瀧川 洋史(鳥取大学脳神経内科)

臨床情報収集 演者:饗場 郁子(東名古屋病院神経内科)

生体試料収集 演者:池内 健(新潟大学脳研究所遺伝子機能解析学)

神経変性疾患遺伝子診断サービス体制の構築

演者:辻 省次(東京大学神経内科)

講演2:ガイドラインについて

座長:中島 健二

13:00~13:30 Minds診療ガイドライン作成の手引き2014 から

演者:森實 敏夫(公益財団法人 日本医療機能評価機構 客員研究主幹)

ワークショップⅡ:PSP、CBS-最近の話題

座長:小野寺 理(新潟大学脳研究所分子神経疾患資源解析学)

13:30~14:00 PSPのMRI診断の診断精度向上に向けて

演者:佐々木 真理(岩手医大超高磁場MRI 診断・病態研究部門)

14:00~14:30 精神科の立場からみたPSP・CBS

演者:横田 修(岡山大学精神科)

14:30~15:00 失語からみた神経変性性認知症疾患

演者:森 悦朗(東北大学高次機能障害学分野)

共同調査研究への参加呼び掛け

座長:中島 健二

15:00~16:00 別紙

16:00 閉会挨拶 研究代表者 中島 健二

共同調査研究への参加呼び掛け(発表4分、質問2分)

15:00～16:00 座長: 中島 健二 (敬称略)
演題 演者

- 1) 神経変性疾患遺伝子診断サービス体制の構築
辻 省次(東京大学神経内科)
- 2) Japan Dystonia Consortium の構築
瓦井 俊孝(徳島大学臨床神経科学分野)
- 3) ALS, FTDの性格・行動変化に関する調査(ALS-FTD-Q)
渡辺 保裕(鳥取大学脳神経内科)
- 4) 家族性脊髄空洞症の全国調査
矢部 一郎(北海道大学神経内科)
- 5) パーキンソン病における自然史と非運動症状に関する調査
服部 信孝(順天堂大学脳神経内科)
- 6) パーキンソン病患者の自動車運転に関する調査
野元 正弘(愛媛大学薬物療法・神経内科)
- 7) SWEDDs(Scans Without Evidence of Dopamine Deficits)症例の全国調査
村田 美穂(国立精神・神経医療研究センター神経内科)
- 8) CBD診断基準のvalidation研究
饗場 郁子(東名古屋病院神経内科)
- 9) CMT Patient Registry (CMTPR) のシステム構築について
中川 正法(京都府立医科大学 医学研究科)
- 10) 難病克服のためのブレインバンクネットワーク構築の紹介
村山 繁雄(東京都健康長寿医療センター神経内科)